

## 血管造影X線診断装置更新のお知らせ

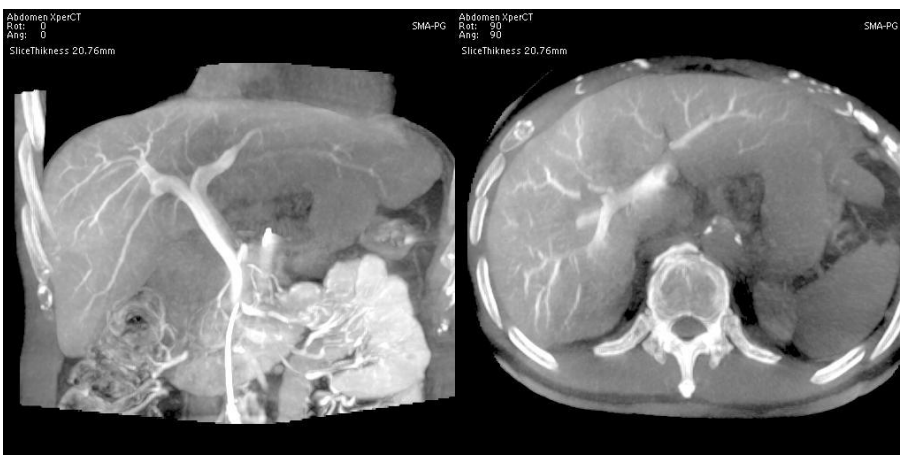
近年、X線装置を使用した血管内治療は、より複雑・高度化しています。このような高度な治療に際して正確な診断、治療を行うためには、高機能であり、低被ばくが不可欠となっています。当院でもこれらに対応すべく平成25年4月3日よりフィリップス社製、Allura Clarity FD20/20が導入されました。

「AlluraClarity」



### 高度な治療に対応

脳神経外科、消化器科で主に使用されます。特に、脳動脈瘤や脳腫瘍、頸動脈狭窄症の方、肝臓腫瘍の治療等に用いられます。今回導入しました血管造影装置は、これまでの装置とは異なり、FPD（フラットパネルディテクタ）を搭載し、高画質な画像を撮影できます。また、高度な治療に対応するため、様々なアプリケーションも充実させ、3Dイメージ（Allura3D-RA）や3Dロードマップ（3Dで表示しながら治療支援する機能）、さらに血管造影室内でCTと同じような画像を撮影できるXperCTなど、新しい機能を搭載しています。



Allura 3D-RA は1回のローテーションアンギオグラフィによるX線撮影で神経血管病変の広範囲にわたる3D表示をもたらす、さまざまな神経放射線インターベンションのアプリケーションを提供します。